

主催：神戸大学ジャンモネCoE

後援：関西プレスクラブ



WITH THE SUPPORT OF THE
ERASMUS+ PROGRAMME
OF THE EUROPEAN UNION

第3回神戸大学ジャンモネCoE
ジャーナリスト向けワークショップ

EUと英国－政治・経済の行方

2017年10月27日(金) 14:00～16:30

神戸大学梅田インテリジェントラボラトリ
【梅田ゲートタワー8F】

●第1部 14時05分～15時05分

「イギリス政治はどこへ向かうのか

－EU離脱決定後のイギリス政治－

講師：阪野 智一

(神戸大学大学院国際文化学術研究科教授兼学長補佐)



●第2部 15時15分～16時15分

「Brexit後の日英経済関係

－日EU・EPAの大枠合意を受けて－

講師：吉井 昌彦

(神戸大学大学院経済学研究科教授兼副学長)



お問い合わせ

神戸大学国際部国際交流課
プログラムコーディネイト事務室

TEL: 078-803-7077
intl-prg@office.kobe-u.ac.jp

阪野 智一 (さかの とまかず)

「イギリス政治はどこへ向かうのか—EU離脱決定後のイギリス政治—」

イギリス政治については、改革モデルとして理想化された形で紹介されることが少なくない。しかし、「宙づり議会」の出現やBrexit問題に象徴されるように、イギリス政治は、内政・外交において大きく揺らぎつつある。EU離脱決定後、イギリス政治はどこへむかうのか。本年6月の総選挙の結果分析も踏まえながら、イギリス政治の変容を考えたい。

略歴

1983年4月東京大学社会学研究所助手、1987年4月神戸大学教養部講師、2010年10月神戸大学大学院国際文化学研究科長を経て現在、神戸大学大学院国際文化学研究科教授兼神戸大学学長補佐。

研究課題

比較政治学 政治過程論 現代イギリス政治

吉井 昌彦 (よしい まさひこ)

「Brexit後の日英経済関係—日EU・EPAの大枠合意を受けて—」

昨年6月23日の国民投票により、EUから離脱することとなった英国は、3月29日にEUに離脱通告を行った。いくつかの離脱パターンが予想されるとともに、離脱交渉期限内に日EU・EPAが発効する可能性もありえる。英国には千社を超える我が国企業が進出し、交渉の行方を見守っているところであり、政府も昨年9月にEU・英国双方に書簡を送り、交渉過程の透明性を高めるよう要求している。本ワークショップでは、これまでの交渉過程を概説するとともに、今後の行方を参加者と一緒に考えたい。

略歴

1985年12月神戸大学経済学部助手、同講師・助教授を経て、2012年11月神戸大学大学院経済学研究科長就任。現在、神戸大学大学院経済学研究科教授兼神戸大学副学長。

研究課題

ロシア・東欧経済論 比較経済論 ヨーロッパ経済論

会場案内図

梅田ゲートタワー 8 F

神戸大学梅田インテリジェントラボラトリ

連絡先：06-6459-7049

阪急「梅田」駅 徒歩3分

JR「大阪」駅 徒歩7分

地下鉄御堂筋線「梅田」駅 徒歩6分

地下鉄谷町線「東梅田」駅 徒歩8分

※一般の方の参加も可能です。

当日参加も可能ですが、会場準備の都合により事前申込みにご協力願います。

ご協力いただける場合は、メール本文に氏名・勤務先・連絡先をご記入のうえ、10月25日(水)までに以下のEメールアドレス宛に送付願います。

intl-prg@office.kobe-u.ac.jp

(神戸大学国際部国際交流課
プログラムコーディネート事務室 三岳宛)

